



議会 だより

千早赤阪
ちはやあかさか

特集：予算常任委員会・こども議会



大阪唯一、小さな村から、
大きな未来



目次

P 2	議決結果
P 3	議長コラム、今月の表紙など
P 4～5	特集 予算常任委員会・こども議会
P 6～11	一般質問
P12	ぎかいの窓、雑感、次回定例会の予定

発行 千早赤阪村議会 / 編集 議会広報編集委員会



6月定例会 議決結果

○全会一致で承認・可決・同意された案件

議 案 名	主 な 内 容
令和7年度千早赤阪村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	地方自治法施行令第146条第2項の規定により、5月15日付けにおいて繰越明許費繰越計算書を調製したことを報告するもの
人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員法の規定により、議会の意見を求めるもの
専決処分（千早赤阪村税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	上位法（地方税法等）の改正によるもの
専決処分（千早赤阪村税特別措置条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	上位法（地方税法等）の改正によるもの
専決処分（千早赤阪村介護保険条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	地方税法の改正によるもの
農業委員会委員の任命について	村長が農業委員を任命するにあたり、議会の同意を求めるもの
千早赤阪村印鑑条例の改正について	印鑑登録証明書のオンライン交付申請を可能にするための改正を行うもの
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	規約変更を関係市町と協議するもの
令和8年度千早赤阪村一般会計補正予算（第2号）	物価高騰対応重点支援地方交付金

○賛否の分かれた案件

各議員の審議結果 ○・・・賛成 ●・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 議・・・議長	結 果	田 村 陽	井 上 浩 一	中 野 智 子	南 本 斎	畑 智 恵 美	尾 崎 充 宏	建 石 和 則
令和8年度千早赤阪村一般会計補正予算（第1号）	原案可決	議 (裁決○)	○	●	●	●	○	○
令和8年度千早赤阪村一般会計補正予算（第1号）修正案	否決	議	●	●	○	○	●	●
年金の毎月支給を求める意見書提出に関する請願	不採択	議	●	●	○	○	●	●

令和8年度一般会計補正予算（第1号）に対する討論

（反対討論）農と緑の活性化ビジョン(案)は大阪府主導で、住民や議会の意見の反映がない。まずは、村民の意見を十分に反映したビジョン(案)として進める取り組みが求められる。
（賛成討論）ビジョン(案)を実現に向けて前進させることは重要。村のこれからのためにも大阪府との連携協力は必要不可欠。

年金の毎月支給を求める意見書提出に関する請願に対する討論

（反対討論）毎月支給とすることで、国の振込手数料負担がかなり多額になる。村民に聞き取りしても毎月支給を求める声も多くないため毎月支給は必要ない。
（賛成討論）年金は受給者にとっては給与にあたる。年金受給者の生活者としての当たり前の権利を保障するためにも、毎月支給は必要。振込手数料は年金積立金の運用益の一部利用で可能。



村議会議長 田村 陽

▼補正予算賛否分かれる

6月19日に行われました議会定例会最終日にて補正予算案が賛成3・反対3の賛否同数となり、議長裁決にて予算成立となりました。

議論の焦点となったのは「農と緑の活性化推進事業」で、この事業は道の駅ちはやあかさかとはや園地の一体管理や道の駅周辺への観光農園開設を計画するものです。反対者からは「府主導ではないか」「村民の意見を聞いて進めるべきだ」との意見がありました。一方で賛成者からは「本村単独では財政的に厳しい」「前に進むことが重要」との意見がありました。

た。

村単独より、府との連携・協力のもと進める方が成功の見込みは高いと考え、議長として予算案に賛成させていただきました。

▼ちはやの森ワクワクフェス

5月31日に金剛山ちはや園地にて大阪府により「ちはやの森ワクワクフェス」オープニングDAYが開催されました。今回も吉村洋文大阪府知事がご来場され、大阪・関西万博で「静けさの森」をプロデュースされた忽那裕樹（くつなひろき）氏とトークショーを開催してくださいました。また万博マスコットキャラクターであるミyakimiyakも登場し会場は大賑わいとなりました。



府知事は3月28日に行われました「くすのき市」にもお越しくださり餅撒きにご参加いただきましたが、ワクワクフェスにおいても餅撒きにご参加いただくことができました。千早赤阪村制施行70周年という節目の年に大変ありがたいことと感謝しております。

今月の表紙



千早赤阪村こども議会
こども議員

声を合わせ質問する様子が微笑ましかったです。

子どもらの思いを大切にしてくださいありがとうございました。

赤阪小学校 近藤和浩校長

「社会や政治に関心をもち参画する」主権者教育を、子ども達は今回の体験学習を通し、より深く学びました。

千早小吹台小学校 越口直史校長

表紙写真
大募集!!

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾っていただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

予 算 常 任 委 員 会 質 疑

令和8年度 一般会計補正予算

1 保健センター整備事業について

問 保健センター整備関連の内容について説明を。

答 当初予定していたLED照明器具の更新工事に加え、事務室の空調・照明設備を新たに予定している。

2 農と緑の活性化推進事業費について

問 基本構想作成の委託料の妥当性は。

答 楠公誕生地周辺のエリアを活性化するためのもので、業者に見積もりを取り、精査して計上している。

問 活性化の基本構想を作るためのワークショップやサウンディング調査は観光農園ありきで行うのか。

答 観光農園も一つの案、整備を図っていく上で、いろんなご意見をいただきたい。

問 南河内全域で同じようなプロジェクトが進められている。住民へはどのように説明されたのか。

答 観光農園と農地マッチングのために対象地域の地権者等に説明した。10年後を目指している。意見を聞いて、改定、変更すべきところは変えていきたい。

問 ビジョン案では道の駅とちはや園地の一元管理を大前提にしているが、この取り組みがどのような形で住民に利益を生むのか。

答 「ちはや園地」と「楠公誕生地」を一体的に見せることで周遊を生みたい。まずは観光農園を1件でも誘致し、遊休農地を活用しながらエリアのにぎわい作りを短期目標としている。

問 住民の意見を聞く前に事業が先行しており、企画案が既成事実化してしまうと懸念する。ビジョン案を村民に広く示して意見を集める必要があると考える。

答 パブリックコメント制度を活用する方向で検討したいが、具体的にいつ、どの段階で実施するかは今後検討していく。

問 誕生地周辺のにぎわいづくりは進めていくべきだが、村は今後観光に力を入れていくのか。

答 地域づくりが不可欠、拠点を絞って整備を進める必要がある。村の収入向上にも将来的に結びつく可能性はある。まずは地域の活性化を図ることが主目的。村の自然環境を生かすには農林業の振興が欠かせない。

問 3 こども誰でも通園制度事業費について

問 子育て支援員の研修費が計上されているが。

答 義務ではないが必要。村単独での研修は難しいが、府の合同研修が実施されるので参加する。

4 中学校管理運営事業費について

問 樹木伐採等委託料が計上されているが、その経緯は。

答 中学校下の線形改良工事との兼ね合いもあるが、伐採対象に新たに桜の木やその他雑木も含めることになったため。

5 給食センター管理運営事業費について

問 修繕費の詳細を伺う。

答 床面の土中配水管が詰まり、緊急で更新作業が必要になった。

問 6 物価高騰対応重点支援地方交付金・区長会事業費について

問 地区にはどのように配分されるのか。

答 これまでの地区の実績から試算して補助額を出している。今年度決算が提出されてから負担額の1/2を補助する形で行う。

問 今回の補助対象が、南海の路線バスとなっているが、公共交通に村のコミュニティバスは含まれないのか。

答 国の示す補助メニューにコミュニティバスが含まれないため、今回は、南海バスの小吹台線と小深線の年間走行距離とガソリン価格上昇分を算出し、補助額を出している。

こども議会に向けて の取り組み

こども議会の開催に向けて準備に取り組んだ児童たち

村制70周年記念事業の一環で、村の議場において「こども議会」が開催されました。目的は、村の未来を担う子どもたち、赤阪小学校、千早小吹台小学校の6年生を対象とした「主権者教育」の一環です。

7月1日、千早赤阪村の議場において、7会派に分かれた児童たちが、一般質問として村長への提案を行い、答弁を求めました。選任されたこども議長もその重要な役割を堂々と果たすことができました。

こども議会開催に向けての提案・企画は、議事事務局が中心となって進めましたが、教育課・学校側との綿密な打ち合わせ、それぞれの小学校での3回の事前学習授業を経て、準備されました。

事前学習は、総務政策課、教育課、議事事務局と村若手職員が担任の先生と協力する形で行われました。2つの小学校それぞれの総合学習等の時間を3時限使って、

- ①総務政策課の職員からの村の現状と第5次総合計画の説明後、村への思いを出し合う。
- ②グループごとに村の課題について意見を出し合い、質問したいテーマ、内容を決める。

③議会で質問する具体的な文章とする。発表練習をする。

のステップで、子どもたちが、大いに学び、考えました。担任の先生からも事前学習は、実際の社会や国語の授業との関連性も高く、とても有意義だったとの感想をいただきました。

そして、このグループ学習では、村の若手職員たちが、担当グループを決めて、サポート役として大いに活躍してくれました。年齢の近い若手職員と親しく楽しそうに話し合う様子からは、この取り組みを通して、子どもたちにとって村職員の存在が近いものとなっていると実感できました。





村制70周年事業の村民企画の周知時期が遅いのでは



改善する余地もあり今後に生かす



南本 斎議員

問 70周年記念事業の具体的な項目と総予算を問う

答 ログマークとキヤッチフレーズ作成、村民企画、こども議会、記念講演、太子町・河南町と連携した共同企画展を実施、総予算は約1200万円。

問 財政危機の中なぜ1200万円もかけるのか、また、村民企画の周知時期が遅いのでは。だんじり曳行事業の補助金要望が出る前に、村民企画補助金募集をしなかったのか。

答 補助金周知の時期や募集期間の指摘は改善する余地もあり、今後に生かす。

要望 1200万円の必要性の答弁がなかったのが残念。だんじりがいない地区に対しての配慮がない。又、後づけの村民企画で非常に残念。

千早赤阪村農と緑の活性化ビジョン(案)について

問 令和6年12月議会に誕生地周辺事業費の減額補正されたが一転して今回のビジョン(案)の策定に至った経緯を伺う。

答 南本議員からこのエリアの活性化への取組は必要で企業など民間活力を講ずべきと意見ももっている。

農林業振興と拠点づくりなどの取組を一つでも実現したいと考えた。

問 示された活性化ビジョン(案)は大阪府の事業にお金と土地を提供するだけ。大切なのは村民の皆さんが集えて税収入が潤うようにすること。その為には民間の活力が必要で企業参入の考えはあるのかを問う。

答 民間企業との対話など民間企業の発案や参入を積極的に取り入れて行

く。

要望 京都府南山城村の道の駅は、村民の皆さんのスーパーマーケットの役割を果たし、買い物難民の解消を担っている。和歌山県北山村は村が100%出資で果物のジャバラやイカダ下りの会社を運営している。双方の村長は「自分達の村は自分達で守らないと誰も守ってくれない」と発言。村としての役割を明確にしていだきたい。

道の駅について

問 道の駅の業務委託が1年延長され、令和8年9月までには選定方法など結論を出さないといけないが進捗状況を伺う

答 農と緑の活性化ビジョン(案)において、道の駅と金剛山ちはや園地の一元管理など、方向性を検討している。

問 令和6年5月27日に

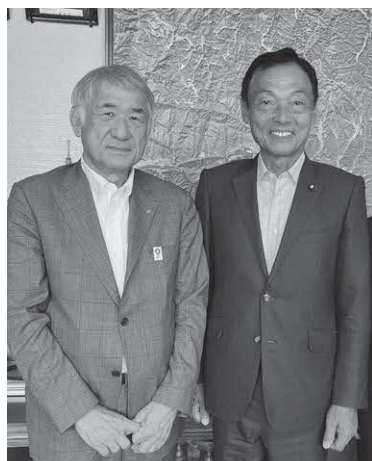
第一回農と緑の活性化協議会を大阪府に開催していただき、当時、金剛山周辺エリアは大阪府、補公誕生地周辺エリアは村が担当して、共に活性化を行うそれぞれのビジョンの説明をした。今回村は明確なビジョンを持って再開をお願いされたのであれば道の駅の運営方法は決まっているはず。将来的な考えを伺う。

答 金剛山ちはや園地と道の駅を同一の運営にしてみようことで、回遊につなげる考え方。今後、地元のご意見も聞きながら検討する。

要望 一元管理で村が担うべき点が見えない、すべて大阪府主導型でなく、大阪府との協働、共に汗する形での運営が望ましい。



和歌山県唯一の村
泉村長と



京都府唯一の村
平沼村長と



中長期の財政シミュレーションの考え方を問う



将来を断定するものではなく、現時点で想定される条件に基づく試算と捉えている

畑智恵美議員

問 行財政改革、自主財源確保の具体的な内容と効果は。

答 行財政改革では、特別職や各種委員、職員の給与などのカットにより約6500万円の効果額を

問 行財政改革、自主財源確保の具体的な内容と効果は。

答 7件の申請があり、うち1件が該当する。事業内容は、村の特産品を媒介として、伝統的な農業の魅力とデジタル技術を融合

問 中長期の財政シミュレーションの説明では、令和19年度には、財政調整基金が底をつくとの推計されているが、この考え方（目的、信頼性、妥当性）を問う。

答 行財政運営を計画的に行い、将来の見通しを持つために毎年公表している。将来を断定するものではなく、現時点で想定される条件に基づく試算と捉えている。

問 70周年を契機として、村の課題と向き合い村の今後を考える取り組みはあるか。

答 主権者教育につながることも議会の開催と農と緑の活性化ビジョン（案）の実現に向けてのワークショップを行う予定。

問 70周年を契機として、村の課題と向き合い村の今後を考える取り組みはあるか。

答 主権者教育につながることも議会の開催と農と緑の活性化ビジョン（案）の実現に向けてのワークショップを行う予定。

問 山火事への対応策と防災体制は。

答 大阪南消防組合が、火災の規模に応じた部隊数で出動し消火活動の主体となる。さらに、国の「消防団の力向上モデル事業」に採択されたので、村消防団が林野火災に対応する資器材を新たに購入する予定。村消防団と大阪南消防組合が連携して資器材を活用した大規模な林野火災対応訓練を実施する予定。



備蓄物資



ドローン物資輸送

問 山火事への対応策と防災体制は。

答 大阪南消防組合が、火災の規模に応じた部隊数で出動し消火活動の主体となる。さらに、国の「消防団の力向上モデル事業」に採択されたので、村消防団が林野火災に対応する資器材を新たに購入する予定。村消防団と大阪南消防組合が連携して資器材を活用した大規模な林野火災対応訓練を実施する予定。



富田林五條線の線形改良の工事区域について



府と密接な連携を行い、移設工事の早期完了を目指す



尾崎充宏議員



危険木の枝打ち

問 府道富田林五條線の線形改良は予定どおり進捗しているのか。村として下水道管の更新工事が必要であるが府と連携を密にして進めてもらいたい。現状について伺う。

いて伺う。

答 府道富田林五條線、

線形改良工事は村がかねてより要望していた事柄で、下水道管の移設に伴う詳細設計業務を本年5月に発注し、文化財協議

申請を行い、許可後に下水道管移設工事の発注を予定。大阪府より、令和8年度内に線形改良工事を現場着手予定と聞いている。府と密接な連携を行い、移設工事の早期完了を目指す。

問 工事区域の樹木の枝打ちをしていたが、どう

いう工事であったのか。

答 富田林土木事務所に

おいて危険木の枝打ちを実施。当該箇所については、地元選出の鈴木憲府

議会議員に現地をご視察頂き、本村から緊急要望を行い早急に対応して頂いた。当樹木はクビアカツヤカミキリによる被害が確認されていて安全面での懸念があり緊急的に枝打ちを実施して頂き通行者や周辺住民の安全確保を図って頂いた。

問 樹木の伐採経費約1

000万円を含む一般会

計補正予算案が提出されているが、今回の府の工事と関係はあるのか。

答 当該箇所を含め、中

学校下の村道中学校前線と府道富田林五條線沿いに生育する樹木を一体的に伐採するための経費。これらの樹木は村が管理する土地に生育、村として責任を持って抜本的な安全対策を講じる必要があると判断した。

「むらぶり」の登録促進

問 村の公式アプリであ

る「むらぶり」の登録を

促進し、有効活用すべきであると考えるが村の考えを伺う。

答 本村の「むらぶり」

には大きく3つの機能があり、1つ目はお知らせ機能、2つ目は、ごみ出しカレンダー機能、3つ目は、デジタル利用券機能、4月末時点のダウンロード数は163件と低調。

問 ダウンロード数16

3件と非常に少ない。現在の状況をどのように評価しているのか。

答 目標値600件に対

し、現在163件、達成率は約27%。目標達成に向け住民の皆様にとって身近で使いやすく、必要な情報を得やすい手段となるよう、内容の充実や周知に努める

職員にとって働きやすい環境の整備を

問 職員は私費で名刺を作成している。名刺を公費で作成する考えはないのか。

答 本村では、村長、副

村長、教育長は公費で作成、職員は自費で作成、8年度の70周年記念ロゴマーク入りの統一デザインでの名刺を正規職員全員分、公費で作成する。

問 令和9年度以降も継続するべきと思うが。

答 本村の魅力や統一的なイメージを効果的に発信できるよう、ロゴマークやデザインを含めた名刺の統一化、公費負担の是非について慎重に検討する。



問 公共施設のセキュリティ対策は

答 機械警備を導入

建石和則議員



問 公共施設のセキュリティ対策と防犯カメラ設置状況は。

答 役場庁舎は、開庁時間外に警備員一名が常駐し、入口には防犯カメラを設置している。くすのきホール、保健センター、給食センターにおいて

は、防犯カメラは設置しておらず、機械警備を導入している。

問 学校の防犯対策は。

答 門扉にカメラ付きインターホンを設置、電子ロックシステムの施錠を

している。休日等無人の時間帯は、警備会社による機械警備を全校導入している。安全な学校環境を守るため防犯カメラの設置を検討する。

問 防犯カメラ設置時期、また設置に関する課題を伺う。

答 今年度中の設置を目指したい。映像データの取り扱いについて、十分留意するよう各校に指示していく。また、保護者への周知も丁寧に行い、理解と協力を得たい。

適正な土地管理について

問 本村の環境条例では、「指導」または「勧告」ができる旨定められているが、適正な土地管理について村の現状、規制の強化と今後について伺う。

答 土地等の適正な管理を怠る事案は毎年数件程度発生している。その多くは村が指導を行った後は適正に管理してもらっている。産業廃棄物等の指導は、大阪府が所管しており、村も府と連携

して対応している。現状では、規制の範囲内で対応できている。

問 他市町の実況も教えてほしい。また、増加している遊休農地管理について村はどのような対応をしているのか。

答 近隣市町では、「指導」を超える措置を講じたことがないと聞いている。遊休農地の対応は、農業委員会が現地確認を行い、適正管理についてお願いする文書を所有者あてに送付している。

問 条例で規制強化する考えはないのか。

答 今後、他市町の状況を調査しながら、必要に応じて検討していく。

財政シミュレーションについて

問 当村の同シミュレーション作成の目的、行財政運営改善への反映について伺う。

答 人口減少等の社会構造の影響を予測し、行財政運営を安定して行うことが目的。大阪府の推計方法を基本に、村の実態も加味して策定している。

問 行財政運営の改善につなげる取り組みについては、大阪府の市町村振興補助金の算定対象と聞いている。菊井村長就任後、村の振興補助金の配分はどうか、どういった取り組みが評価されたのか、今後どう取り組むのかを伺う。

答 配分額は増加傾向にあり、令和7年度が7605万円。村の過去20年間で最高額であり、府内市町村でも最高額の配分である。DX推進と広域連携の検討や、民間及び南河内全体と連携した賑わいづくりに向けて「千早赤阪村農と緑の活性化ビジョン（案）」の策定に取り組んだ評価と考えている。今後も将来を見ながら政策的判断を行い、持続可能な行財政運営に努める。

一般的に、公共施設のセキュリティ対策として、防犯カメラの設置や機械警備の導入が効果的である。また、学校の防犯対策として、インターホンや電子ロックシステムの導入も有効である。土地管理については、環境条例の指導や勧告だけでなく、適正な土地管理の確保が重要である。また、遊休農地の管理については、農業委員会と連携して対応することが必要である。財政シミュレーションについては、人口減少等の社会構造の影響を予測し、行財政運営を安定して行うことが目的である。また、大阪府の推計方法を基本に、村の実態も加味して策定していることが重要である。



心の健康への取り組みは



引き続き体制づくりに取り組んでいく



井上浩一議員

問 心の健康とは病気の有無だけでなく、感情・思考・人間関係・生きがいが保たれ自分らしく生活できる状態を指す。村でも孤立やストレス等の課題が増えていると考える。心と健康への取り組みとして、

① 実態をどこまで把握しているのか。

② 相談・医療・地域の連携は機能しているのか。

③ 心の健康を守るための仕組みはあるのか。

答 ① デリケートな問題、把握は難しい。窓口や社協、民生委員を通じ把握に努めている。

② 各組織の連携は機能していると考ええる。

③ 取り組みとして、保健師や弁護士との無料相談、ゲートキーパーの養成、アウトリーチ活

動等行っている。

問 村の実態と実績、課題を具体的に問う。

答 令和7年度の全体の相談は1385件、その内、医療へ繋がったのは12件で約1%。訪問支援では、保健師が112件、重層的支援104件。ゲートキーパー受講者は9人。

問 相談は多いが、必要な支援につながっていない可能性があり、分類も行われていない。分析や評価は行うのか。SNS相談の導入は。

答 心の相談以外にも含まれ、重複もあるが適切に対応していると考えている。SNS相談については公的、民間の既存の窓口に繋げているので、村独自のSNS相談の導入は考えていない。引き続き、相談してよかったと思われる体制づくりに取り組む。

環境美化条例の制定を

問 村は環境美化について既存の条例で事足りるとしている。現状は対応不足な事例がみられる。他の多くの自治体は環境美化条例を制定しているが村の考えを改めて聞く。

答 環境美化相談が数件あるが、指導等で改善されている。

問 村の条例は総論型で具体に進めるには不十分だ。金剛山のごみ問題や不法投棄について対応できているのか。

答 金剛山のごみ問題については府とボランティア団体等と協働している。規制強化については必要に応じて検討したい。

問 村の体制は実行可能な範囲での最低限のルール。運用改善する気はあるのか。他市町の調査、現場課題の整理、意見交

換等、検討する意思はあるのか。

答 運用改善の必要性は無いと考えている。調査検討は必要に応じて行う。

高齢者の聞こえ支援を

問 国は難聴高齢者の早期発見・早期介入を推進している。村の現状と課題について伺う。

答 今のところ取り組みは無い、国の動向を見ている。

問 遅いのではないのか、まずは地区へ出向いて試行を行ってはどうか。

答 聞こえに関する相談等もない、職員のスキルアップを図りたい。

問 国の手法は確立している。相談が無いのは本人の気づきが無いとのデータがある。スキルアップは実践の場で活かす事が必須。いつまでに方針を出すのか。

答 専門職がいらない等の課題が多い、引き続き検証する。

加齢による聴力の低下は

40歳代から始まると言われており、

65歳をこえると聞こえづらさを感じる人が一気に増え、

75歳以上では、約半数の

方が聞こえづらさを感じている。

参考：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 Hear well, Enjoy life
<https://www.jibika.or.jp/owned/hwel/hearingloss/>



結果が残せる農と緑の活性化ビジョン(案)を求める



地域の活性化は、村政を担う私の使命であり、最重要施策である

中野智子議員

問 水分地区と二河原辺地区の地権者に対して実施し、参加者から水路の補修といった営農支援の要望があった。
また、観光農園立

答 水分地区と二河原辺地区の地権者に対して実施し、参加者から水路の補修といった営農支援の要望があった。

農と緑の活性化ビジョン(案)について

問 大阪府と連携した本事業は、どのように決定されたのか。

答 千早赤阪村農と緑の推進会議を令和7年度から2回、下部組織で5回協議調整を行い、決定した。

問 南河内農と緑の総合事務所が推進するおおさか農政アクションプランでは、本村と南河内全域で同じような取り組みを行う。本村の独自性なく、連携ありきの計画で大丈夫なのか。これに基づいた誕生地周辺の地権者への説明会での内容を問う。

地に向け、貸付意向がある地権者を対象に、個別に協議を行った。

問 農と緑の活性化ビジョン(案)では、本事業の目的を明確にし、最小限のコストで最大限の結果を出さなければならぬ。村長として結果が出るのか。成功する確率やエビデンスを問う。

答 地域活性化は村政を担う私の使命であり、最重要施策である。本事業で掲げている数値目標を達成すべく事業展開し、適宜より効果の高い取り組みを推進していく。

村の財政状況について

問 村の財政は、令和11年度の収支が逆転し、令和19年度には、財政調整基金がゼロになることが予測されている。村の方針として、どのような対策を行なうのか。

答 持続可能な財政運営

を行うために、歳入確保、歳出の抑制を着実に進めることが重要。財政調整基金の取崩額を圧縮するために経費削減、企業誘致やふるさと納税などの新たな財源確保に努める。公共施設など将来的な更新費用の抑制や維持管理経費の削減に努める。

問 にぎわいづくりを行っても短期間で財源確保は難しい。基金の枯渇を先延ばしするためには、住民の協力があつてこそ。問題なのは、住民の皆様が現財政状況を十分に理解していないこと。住民に対して、積極的周知が必要ではないか。

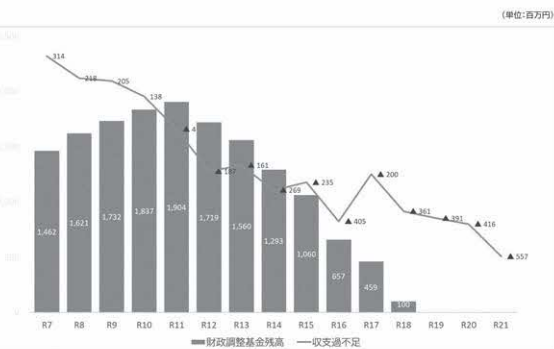
答 財政情報を住民に公表することが義務付けられており、住民の皆様へわかりやすく伝えていく。

問 村が現状のまま推移すれば、いずれ立ちいかなくなるのではないかと。村民に、あおることな

く、節約や簡素化できること、反対に増やさなければならぬことを伝える時期ではないか。特定の方々の知識と意見しか届かない現状から、もっと、住民目線の意見交換の場が必要ではないか。

問 配食サービスは、安否確認と食生活支援のために、村が経済的支援を行い、配達ボランティアに支えられて行われている。利用者が増えるばかりで、高齢の配達ボランティアの安全面や負担、新規の確保が問題となる。配食サービスの今後の予定を問う。

配食サービスを考える



令和7年度千早赤阪村中長期財政シミュレーション(出典:大阪府)

時代背景にあった住民サービスの見直しについては、村全体の行財政改革の取り組みの中で適切に判断していく。

ぎ か い の 窓

■こども議会の開催

70周年企画として7月1日にこども議会が開催されました。

赤阪小と千早小吹台小の6年生の児童計21人が7つの会派に分かれ、議場において、村長に質問しました。

こども議長は会議前半、後半で1名ずつ選任され、重要な役割を堂々と果たすことができました。

提案内容は、公園に遊具の設置を、ボール遊びができる公園の整備を、農業の跡継ぎ問題、スーパーマーケットを作って、コンビニ誘致して、防災ベンチの設置を、村にしかない街灯を作ろう、など多岐にわたり、子どもたちが身近に感じていることが素直に表現されていました。そして、どの会派も堂々とその主張を伝えることができました。その一つでも実現につながってほしいものです。

こども議会の開催に向けた準備では、それぞれの小学校の総合学習等の時間を3時限使って行われました。

子どもたちは、村の若手職員のサポートのもとグループに分かれ

て学習を進めましたが、職員と楽しそうに話し合う様子はほほえましくもあり、村職員にあこがれてほしいとの期待感も抱きました。

この取り組みは、村のことをより身近に、より具体的に考えることができ、村の今後に関心を持つことができる主権者を育てるという意義を持ちます。

子どもたちの成長に合わせた場面で、例えば、中学3年生、20歳の集いなどで、さらに深く村について考えてもらおう機会を設けることで、より充実した主権者教育として根付いていくのではないかと感慨深く考える一日となりました。そして、1回限りではなく、継続的に実施されることを強く望みます。
(畑)



議場での様子



議会を傍聴しませんか



次回議会の予定

次回定例会の予定は、
9月3日(木)から9月18日(金)です。
9月3日(木) 本会議 初日(議案上程) 午前10時
9月4日(金) 本会議 2日目(一般質問) 午前10時
9月8日(火) 村づくり常任委員会及び予算常任委員会 午前10時
9月10日(木) 決算特別委員会 午前10時
9月11日(金) 決算特別委員会 午前10時
9月18日(金) 本会議 最終日 午前10時
上記日程は、状況により変更になる場合があります。本会議及び各種委員会は、傍聴できます。(定員10人) 1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることができます。本会議の様子をYouTube 配信していますので、ぜひ視聴ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑感

サッカーワールドカップ(W杯)が開幕した。現在(6月22日)、日本は一勝一分で、決勝トーナメント進出は確定していない。次戦(対スウェーデン)にも勝利してもらいたい。皆さんが、この文を目にする頃には、優勝国が決まっている。それは日本であることを願っている。

五輪やW杯のような大きな国際大会になると、私も含め俄かファンが増え、日本の応援で一体感が生まれ、大いに盛り上がる。スポーツに全く関心のない方もおられるだろうが、スポーツの場では、「日の丸」、「君が代」に感動し、時には涙することもあつた。普段、繋がりがない人たちが一体化させ、感動させるスポーツの素晴らしさを感じずにはいられない。千早赤阪村も一体となつて、前へ進めていけたらと思う。

W杯には太子町出身の前田大然選手が出演している。同町では、パブリックビューイング(PV)での応援で盛り上がりつつある。将来、五輪やW杯で、本村出身選手をPVで応援したいものだ。
(建石)

広報編集委員会

委員長	畑智恵美	副委員長	中野智子
委員	井上浩一	委員	南本 斎
委員	尾崎充宏	議長	田村 陽